

群馬リハビリテーション病院



真ごころ

m a g o k o r o

01

季刊

2016

公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

—特集—

先進的

リハビリテーション



院長あいさつ



〔略歴〕
群馬大学医学部卒
日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本温泉気候物理医学会温泉療法専門医
日本リハビリテーション医学会代議員
日本温泉気候物理医学会評議員
群馬県地域リハビリテーション協議会委員

当院は昭和37年に群馬県医師会が設立したリハビリテーション専門病院です。設立当初は46床の小さな病院でしたが、50周年を迎えた現在では196床(回復期病棟156床、療養病棟40床)の病床を持ち、1年365日患者さん1人1人にリハビリテーションを提供できるまでになりました。

リハビリテーションとは、機能回復を図るのはもちろん、障がいが残ってもその障がいと共に生き甲斐のある新しい人生を構築するために、自立を支援していくことです。当院では「まごころ・ふれあい・おもいやり」を基本方針に、医師・看護スタッフ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・健康運動指導士・社会福祉士・薬剤師・栄養士などの専門スタッフがチームを組み、より良い社会復帰・家庭復帰を実現するために365日全力で取り組んでおります。

また、地域貢献にも努めており、吾妻郡内6町村と協力し、介護予防教室などの運営をお手伝いしたり、中之条町営の介護老人保健施設「ゆうあい荘」の協力病院として人材協力を行ったりしています。市街地より若干遠方ではありますが、北関東一、二を誇る数のリハビリスタッフの皆様をお迎えし、1人1人によりきめの細かい丁寧な対応を心がけておりますので、「遠くても来た甲斐があった」とのお褒めの言葉も数多くいただいております。

今後もより一層、質の高い安全なリハビリテーションを提供し、皆様に選ばれる病院を目指してまいります。

群馬リハビリテーション病院 院長 真塩清

基本理念

明日をめざして

リハビリテーションを一人ひとりに

基本方針(三位一体)

まごころ



- 患者様本位の「まごころ」ある良質な医療を提供する。
- 患者様本位の「思いを込めて」ケアを実践する。
- 患者様本位の「癒し」の施設を追求する。

ふれあい



- 地域活動にも積極的に参加し、地域住民との「ふれあい」を大切にする。
- 「良質な温泉」「緑豊かな自然」との調和をめざし、自然環境を大切にする。
- あいさつは明るく笑顔でまずわたしから。

おもいやり



- 職員同士お互いを『おもいやり』、情報の共有化を図る。
- 相手の立場を理解し、常に次の人のことを考える。
- 安全で明るく働きがいのある職場を確保する。

群馬リハビリテーション病院 部署紹介

当院ではリハビリテーションを行っていく上でさまざまな部署が協力し合い、より効果の上がる方法で患者さんの目標に近づけるようにチームアプローチを行っています。

看護部



看護部では、医師を始め管理栄養士、薬剤師、検査技師など多職種との共同のもと疾病管理・再発予防を行いながら、リハビリスタッフとともに「ADL(日常生活動作)拡大に向けてリハビリ意欲を支える看護」「患者さんの持てる力を最大限に活用した待つ看護」を実践しています。

作業療法室



人は、作業(活動)することで「輝き」、そして「元気」になります。作業療法(OT:Occupational Therapy)とは、その作業(活動)を利用することによって、病気や事故などで今まで通りの生活ができず困っている方に対して、再び輝きを取り戻すために行われる、こころとからだを元気にするリハビリテーションのことを言います。

理学療法室



早期家庭・社会復帰に向けて、日常生活の基本となる(座る、立つ、歩くなど)の基本動作の回復や維持、予防を目的に、運動療法や物理療法を用いて、自立した日常生活が送れるよう支援していきます。

言語聴覚療法室



脳の障害や交通事故後などにより、ことばがうまく出てこなかったり、聞いて理解することが出来なくなったりする失語症の方や、顔面・舌の麻痺や外科的手術により、ことばを発する器官がうまく動かなくなってしまい、呂律がうまく回らなくなってしまう方に対し、治療を行います。

医療体育室



当院では、個別リハビリに加え、医師の指示のもと、健康運動指導士が中心となり、集団での体操・水中運動、リハビリテーションスポーツ(レクリエーションや屋外歩行プログラム等)を実施して頂ける環境を整えています。対象者のニーズに合わせて支援することで、退院後も、生き生きと活動することができるように、運動機能・体力の向上、健康維持・増進を図っていきます。

先進的リハビリテーション



群馬リハビリテーション病院では、科学的根拠に基づいた継続的で質の高いリハビリテーションができることを目指します。先進的リハビリテーションについてプロジェクトチームを中心に活動・研究・発表することで、新たな知見を各療法士が学びます。そしてこれを患者さんのリハビリで実践するという流れを通し、療法士の人材育成を図ることで、患者さんのリハビリ診療にできる限り還元します。当院は近隣の病院にはない、多くの先進的リハビリ機器を備えますが、今後もさらに導入を継続していきます。

主な治療内容

ロボットリハビリテーション

当院のロボットリハビリテーションは、現在のところ主に歩行障害に対し、股関節や膝の動きを機械的に援助して行うリハビリテーションです。下肢の動きが見られない方でも電極で筋電を検知し動きを引き出すHALや、歩行安定性が低い方に安全に歩けることを目指す歩行アシストを導入しリハビリに活用しています。



HAL



歩行アシスト

運転支援サポート

ドライブシミュレータ(セーフティナビ)はリハビリテーション中の方が、作業療法士などと一緒に自動車運転再開に向けて運転に対する評価・訓練をサポートするためのソフトです。運転環境の模擬的な再現により、運転操作の手足の複合的動作を楽しみながら行うことができます。当院では、主に医師や作業療法士が、車の運転再開が必要と判断した場合に実施しています。



ドライブシミュレータ

低周波刺激と運動療法の併用

低周波電気刺激は強制的に筋活動を起こさせる機器として利用されてきましたが、最近は運動療法との併用が模索されています。IVES(随意運動介助型電気刺激装置)は主に上肢の筋電位をセンシングして増幅し、タイミング良く筋活動が行えるよう学習を促し、Walkaide®(ウォークエイド)は傾斜センサーを用いて歩行時の足関節背屈を電気刺激により促します。



IVES



Walkaide®(ウォークエイド)

その他リハビリ機器

免荷式トレッドミルトレーニング装置は、歩行時の安全性確保に応用しており、足漕ぎ車いすは、車椅子に乗車可能であれば利用できるエルゴメータとしても活用しています。また、訓練用装具を整備し、立位・歩行訓練に積極的に活用し、このほかにも多くの機器を活用、併用してリハビリテーションの効果を上げています。



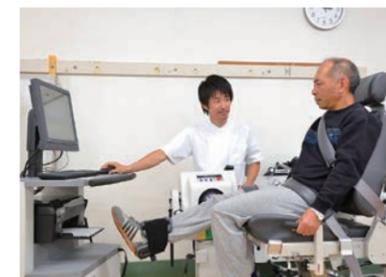
免荷式トレッドミル



足漕ぎ車いす

リハビリ計測機器

リハビリテーションにおける評価は、リハビリプログラムを作る上で大切です。当院ではBIODEX、舌圧測定器、VE(嚙下内視鏡)、ハンドヘルドダイナモメーター、高次脳機能検査機器、プレート式下肢加重計、足底圧力分布測定装置等により、リハビリの効果が検証できる機器も整備しています。



BIODEX



ハンドヘルドダイナモメーター

回復期リハビリテーション病棟診療実積紹介 (平成26年度)

在宅復帰率	84.4%	重症患者受入率	35.8%
平均病床利用率	95.1%	重症患者改善率	66.5%
平均在院日数	84.7日	1日あたりの平均リハビリ提供単位数	7.9単位
疾患別割合 (脳血管疾患等46.1%、運動器49.3%、廃用症候群4.6%)		休日における平均リハビリ提供単位数	8.3単位

平成26年度入院統計

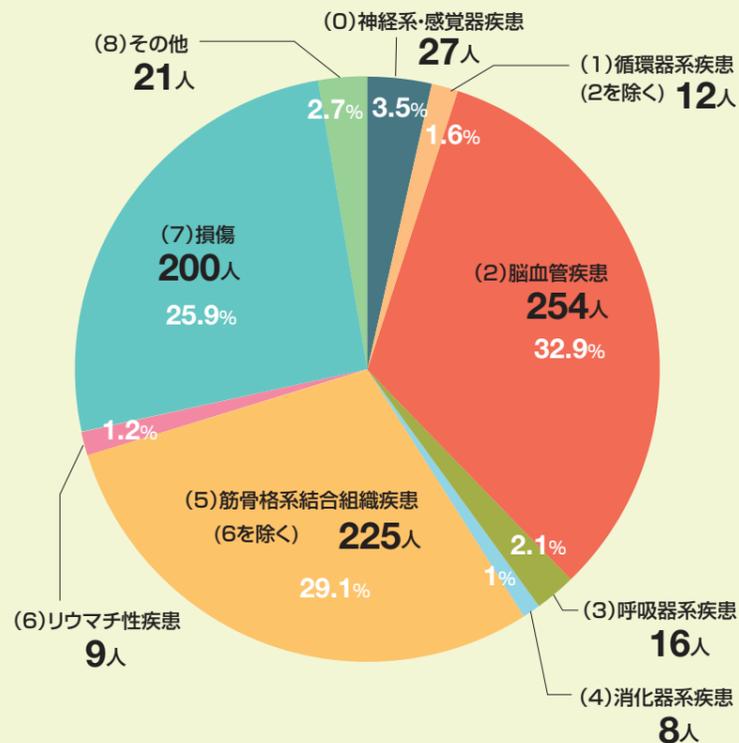
【地区別入院患者数】

郡市名	計	%
前橋	113	16.1
高崎	49	7
桐生	13	1.9
伊勢崎	20	2.8
太田	5	0.7
沼田	69	9.8
館林	2	0.3
渋川	56	8
藤岡	18	2.6
富岡	13	1.9
安中	25	3.6
みどり	3	0.4
佐波	4	0.6
北群馬	7	1
多野	0	0
甘楽	19	2.7
吾妻	229	32.6
利根	50	7.1
邑楽	7	1
合計	702	100.0%

【県外別入院患者数】

都県名	計	%
東京	16	22.9
埼玉	35	50
栃木	7	10
神奈川	1	1.4
千葉	6	8.6
茨城	0	0
その他	5	7.1
合計	70	100.0%

【病類別入院患者数】



【性別・年齢別入院患者数】



医療機関情報(関東信越厚生局長への届出に関する事項)

基本診療料

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1 (体制強化加算)
- 休日リハビリテーション提供体制加算
- リハビリテーション充実加算
- 療養病棟入院基本料2
- 療養病棟療養環境加算1
- 感染防止対策加算2
- 患者サポート体制充実加算

特掲診療料

- 外来リハビリテーション診療料
- 薬剤管理指導料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
- 運動器リハビリテーション料(1)

回復期リハビリテーション病棟 対象患者区分表

疾患	発症から入院まで
1 ①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、または義肢装着訓練を要する状態 ②高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の脊髄損傷者および頭部外傷を含む多部位外傷	2ヶ月以内に入院が必要 [算定期間] 1-①…150日 1-②…180日
2 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または二肢以上の多発骨折の発症後または手術後	2ヶ月以内に入院が必要 [算定期間] 90日
3 外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	2ヶ月以内に入院が必要 [算定期間] 90日
4 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後	1ヶ月以内に入院が必要 [算定期間] 60日
5 股関節または膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内に入院が必要 [算定期間] 90日

※但し、算定開始日数控除対象入院料等を算定する患者に対して、一日6単位以上のリハビリが提供された場合には、その日数をこの2ヶ月(上記1番～3番)、または1ヶ月(上記4番～5番)の期間から30日を限度として控除できます。
ちなみに、算定開始日数控除対象入院料等を算定している患者とは、以下の通りです。

- 一般病棟入院基本料
- 特定機能病院入院基本料
- 専門病院入院基本料
- 総合入院体制加算
- 救命救急入院料
- 特定集中治療室管理料
- ハイケアユニット入院医療管理料
- 脳卒中ケアユニット入院医療管理料

患者さんの権利と義務

当院では次の事項を旨とし、患者さんと医療従事者が手を結び合い、より良い医療の実現を目指します。

【権利】

- 平等かつ最善な医療を受ける権利があります。
- 自らの状況について十分な情報を得る権利があります。
- 自らの意志に基づいて医療行為を選択する権利があります。
- プライバシー尊重の権利があります。

【義務】

- 医療提供者に正確な情報を伝える義務があります。
- 自らの状況について納得いくまで質問する義務があります。
- 出来る限り自らの意向を正確に伝える義務があります。
- 他の患者さんへの医療に支障がないよう配慮する義務があります。

公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

群リハ トピックス

平成27年12月6日(日)開催の第18回群馬県作業療法学会にて、
当院より参加した、粕川将志作業療法士が演題発表し、最優秀演題賞を受賞!

■ 学会名: 第18回群馬県作業療法学会

■ 演題名: 『CI療法とIVESの併用により日常生活場面での使用頻度向上につながった症例』

[発表要旨]

脳卒中治療ガイドライン2015では、脳卒中片麻痺上肢への機能改善が期待できる治療法としてconstraint induced movement therapy (以下CI療法)を挙げている。

しかし、長時間の訓練や麻痺手の拘束等による精神的負担が大きく、回復期リハビリテーション病棟では適応となる患者が少ないのが現状となっている。今回は、本来は1日平均5時間のCI療法を1日3時間に短縮して実施する中で、随意運動介助型電気刺激装置(IVES)を併用した。

その結果、麻痺側上肢の機能改善と共に日常生活での使用頻度が増加した。また、今回の検証により短時間でのCI療法でも効果を実感する事ができた。



群馬リハビリテーション病院 診療案内

お問い合わせ TEL.0279-66-2121

※変更になる場合がございますので、随時お問い合わせください。

H28.4/1~

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	休診	林 信太郎	西 勝久	[第1・3・5]小池 [第2・4]西	神経内科 長嶋 和明	第2のみ 第1・3・4・5 休診
	午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診
整形外科	午前	西野目 昌宏	佐々木 毅志	眞塩 清	土田 ひとみ	休診	第2のみ 第1・3・4・5 休診
	午後	休診	休診	休診	リウマチ科 [第1・3]須藤 [第2・4・5]米本	休診	休診

外来診療受付時間
9:00~11:30

診察時間
9:30~12:00

休診日
日曜・祝日・年末年始(外来リハビリもお休みです)

リウマチ科 毎週 木曜日 15:00~

神経内科 毎週 金曜日 長嶋医師は内科の診察も行なっております。

※保険証は、毎月必ずご提出ください。 ※担当医は、変更になることがあります。

沢渡ぶち紀行

現在放映中の大河ドラマ「真田丸」で中之条町も盛り上がっています?! 当院までの道のりにある看板をいくつか撮影してみました。でも、今までこんな歴史的な場所があると、正直知りませんでした……



リハビリテーション科、内科、整形外科、神経内科、リウマチ科
群馬リハビリテーション病院

〒377-0541 群馬県吾妻郡中之条町上沢渡2136
TEL.0279-66-2121 FAX.0279-66-2900
<http://reha.gunma.jp> 群馬リハビリテーション病院

検索